

日本基督教団 関東教区 埼玉地区第25回(2019年度)

“アーモンドの会”開催レポート

日本基督教団 関東教区 埼玉地区の教会が中心となって開催している“障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会”である「アーモンドの会」。こちらの2019年度、25回目の会が9月に開催されました。ここでは、その内容をご紹介します。



❖主題：「統合失調症診療歴より」

ーイエスが病んでいる人たちと出会った時の物語から学ぶー

❖講師：功刀 弘氏 (医学博士/精神科医/山梨いのちの電話理事
功刀クリニック名誉院長/日本キリスト教団甲府教会員)

❖証者：小林 良雄兄 (埼玉心の泉会メンバー)

❖午後プログラム：グループ分かち合いの時

❖開催概要❖

<日時>2019年9月23日(月・秋分の日)

午前10時～午後3時半

<場所>日本キリスト教団 埼玉和光教会

<参加人数>104名

<午前プログラム>開会礼拝・主題(講演)・証のとき

開会礼拝では、毛呂教会の澁谷弘祐牧師が「主のもとに住む」というテーマで「コリントの信徒への手紙二 5章1節～10節」を紹介しながら、ご自身の体験とそこから得た多くの気づきをお話くださいました。



主題である講演では、精神科医の功刀弘氏が統合失調症の患者と共に、実に55年の歳月を歩まれた、その内容を紹介くださいました。特に、「睡眠と統合失調症の関係」から、私たちにあらためて日々の睡眠の重要性を教えてくださいました。

また、現在の統合失調症治療の課題や隣人同士の関わりが患者の人生にどのような影響を与えるのか等、私たちが知っておくべき多くの知識を与えてくださいました。

さらに、一般の人よりも平均寿命が約10年短いという統合失調症患者者に寄り添い、豊かな人生を歩む支援をしていくというご自身の決意とキリスト教の関わりをお話くださいました。

午前中最後のプログラムとなる証のときは、小林義男兄から日々の気づきや会場にいる参加者の皆さまへのメッセージがありました。



<午後プログラム>グループ分かち合いの時

参加者の皆さまが集まったの昼食時間では、所属教会ごとの自己紹介がありました。

午後のプログラムでは、10の分団に分かれ、「午前プログラムで感じたこと」「自分自身の経験や思い出」「日々の気づきや考えたこと」について、意見交換が行われました。なお、澁谷牧師と功刀氏は10の分団をまわりながら、皆さまのご質問等に答えられていました。

本日最後となる閉会のときは、参加者全員が礼拝堂に集合。功刀氏への質疑応答と共に、本日の振り返りが行われました。ご参加いただいた皆さま、誠に有難うございました。

